

寒い季節です。屋内で過ごす時間が多いと思いますので、ぜひ読書にも時間を使ってほしいと思います。また普段読書をしている人は、小説やライトノベルだけでなく違った分野の本にも目を向けるとよいでしょう。この図書館だよりをきっかけにして、ぜひ本校図書館に足を運んでみてください。本棚の間を歩くだけで、本の背表紙たちが皆さんを読書の世界へ案内してくれるでしょう。

○図書委員会で作成しているブックリストについて

本校図書委員会では、毎年読書週間にあわせて、図書委員のおすすめの本の紹介をまとめた「書の回廊（ほんのかいろう）」を作成しています。図書館で配布していますので、希望者は学校司書の先生に申し出てください。

また、高崎地区の高校の図書委員が自分たちが読んで面白かった本を紹介したブックリストもあります。これも図書館で配布していますので、希望者は学校司書の先生に申し出てください。

○図書館の展示について

学校司書の先生がほぼ毎月月替わりで、図書館入口を入れて正面の場所と図書館の窓の外側の通路から見える位置に本の展示をしています。図書館前を通った際は、ぜひ見てください。展示してある本も貸出可能です。

○本(のコーナー)の紹介

図書館を利用する人の大部分は小説やライトノベルを読むので、気が付かない人も多いかもしれませんが、学校図書館には様々な分野の本がとりそろえられています。その中の一つに私の専門教科である数学の本のコーナーもあります。図書館のカウンターに近い場所です。小説やライトノベルは過去の図書館だよりやLibraryで数多く紹介されていますので、今回は数学の本のコーナーから1冊の本をご紹介します。

『教科書を飛び出した数学』 藤川大祐著 丸善出版

インターネットで住所などの個人情報を送る際には、途中で第三者に情報を盗まれても中身がわからないように暗号化がされています。現在使われている暗号化の技術は中学校の数学で習った素因数分解を応用した技術です。この本ではこのような学校で習った数学が社会の中で実際に役に立っている例がたくさん紹介されています。「なぜ数学を勉強しなければならないのか。」と疑問を持っている人はぜひ読んでみてください。

お知らせ

『キノの旅』 1巻を探しています！

冬休み中に本の確認（蔵書点検）を行ったところこの1年間で行方不明になっている本が1冊だけありました。司書が貸出処理をする際にバーコードの読み取りミスをしてしまった可能性もあります。もし手元に『キノの旅』1巻を持っているという生徒がいたら、図書館まで届けて下さい。

行事報告

軽音楽部Xmaslive in図書館

12月23日（金）終業式の放課後に図書館で軽音楽部によるクリスマスライブが行われました。特別ゲストとして教員有志のグループによる米津玄師さんの「Lemon」の演奏も行われました。先生たちの普段は見られない姿に驚く生徒も多数いました。



展示

高崎地区図書委員の おすすめ本

高崎地区の13校の高校図書委員がおススメする本の冊子を作成しました。図書館では、冊子に載っている本を集めたコーナーの作成、および冊子の配布を行っています。



表紙は高崎商業高校の図書委員が書いてくれました。表紙だけでも一見の価値あります！

重要

3年生は1月中旬に 本の返却を！

3年生は、家庭学習期間に入るため、1月31日までに本の返却をしてください。（31日までに返却すれば、1月中の貸出は大歓迎です）
進学等で2月以降も本が必要な場合は、司書まで相談してください。

県立 図書館

「電子図書館」

サービスが始まりました

群馬県立図書館で令和5年1月から電子図書館サービスが開始されました。県民は誰でも利用できるとのこと。オンラインで利用登録＆利用ができるようなので、ぜひ活用してください。

県立図書館
ホームページ →

